



一般の部に過去最多 148 人が受検

1/26 第3回安曇野検定

市民の皆さんに市の自然や歴史・文化・伝統について広く知ってもらうため、本年度3回目となる安曇野検定（市教育委員会主催）が1月26日、市内3会場で行われました。検定は一般の部、ジュニアの部に分けられ、本年度は総合編として幅広い分野から出題されました。このうち一般の部では過去最多の148人が受検。豊科交流学習センター「きぼう」の一般の部受検会場では、59人が100問の難問に挑戦しました。このほかジュニアの部では市内2つの小学校でも児童119人が受検しました。当日の問題と解答は、市ホームページに掲載しています。



昔の日本にタイムスリップ

1/22 昔の暮らし体験教室

江戸時代から戦前にかけて人々が営んでいた暮らしを子どもたちに伝え、物を大切にすることを育む出前講座「昔の暮らし体験教室」（市教育委員会主催）が1月22日、穂高南小学校で開催されました。

この日は3年生102人が参加。穂高郷土資料館・豊科郷土博物館職員などから当時の暮らしや学校生活の様子を聞いたり、当時の道具などを体験したりしました。この体験教室は毎年希望する学校で行われ、本年度は市内すべての小学校で開催されています。

恩師や旧友との再会にほころぶ笑顔

1/12 平成26年安曇野市成人式

市成人式が1月12日、安曇野スイス村サンモリッツ（豊科南穂高）で行われ、716人の新成人が出席。人生の大きな節目に誓いを新たにしました。

式に参加した望月滉大さん（豊科北中卒）は「懐かしい友人に会えて嬉しいです」と話し、堀金中で当時の担任だった青柳敏明さんは「教え子が成長した姿を見るのは、感慨深いです。節目の年に、内面と外見のバランスをあらためて考えて欲しい」とハレの日を祝いました。

会場では、新成人がそれぞれ目標を書いた紙を北アルプスの山の形に貼り合わせ作り上げる「make アルプス」が行われ、新成人らは思い思いに筆を走らせていました。

式終了後の交流会では、市商工会（齊藤正昭会長）が出席した新成人全員に1000円分の「成人式振興券」を進呈し、市内飲食店の利用を呼び掛けました。

本年度、市内では979人（男性493人、女性486人）が成人を迎えました。



地域防災の要 決意新たに

1/12 市消防団出初式

市消防団出初式が1月12日、穂高会館で行われ約600人の団員が参加しました。団長の寺畑佳司さん（穂高有明）は式辞の中で「常に市民に信頼される存在として活動し、団の活性化や団員確保などの課題解決にも取り組んでいきたい」と決意を述べました。

式典では、無火災表彰や功績のあった団員への表彰、退団者表彰が行われました。式典後、分列行進が穂高会館と穂高駅前までの間約1.3kmで行われ、沿道に集まった市民が見守る中、音楽喇叭隊の行進曲に合わせて団員と消防車両21台が行進を披露しました。



自慢のリンゴを生かして

1/16 安曇野林檎ナポリタン試食会

市の特産品の一つリンゴを使った「安曇野林檎ナポリタン」の試食会が16日、レストランアベ（穂高）で開催されました。安曇野林檎ナポリタンは、市、安曇野調理師会、松本大学などが連携し、新たなご当地グルメ候補として考案したもので、リンゴのさわやかな酸味とやさしい甘みが特徴のパスタ料理です。この日は、市内飲食店がそれぞれにアレンジを加えた試作品を持ち寄り、試食や意見交換をしました。このメニューは、今後、市内参加飲食店で販売されます。

子どもたちの熱意に応え、ゆるキャラ来訪

1/29 厚木市マスコットキャラクターが明南小訪問

昨年11月に行われた「ゆるキャラグランプリ2013」で第6位を受賞した、神奈川県厚木市のマスコットキャラクター「あゆコロちゃん」が同市の職員と1月29日、明南小学校（明科中川手）を訪れ児童と交流しました。

同校の3年1組（25人）では、総合的な学習の時間で安曇野市の良い所を学ぼうと、市をPRするマスコットキャラクターがないことを知り、自分たちでキャラクターの案作りを計画。原案作りに生かそうと全国11のキャラクターに手紙を書き来訪を呼び掛けました。子どもたちの熱意に応えようと、厚木市が応じたものです。同市によると子どもたちの依頼で他地域を訪問するのは初めてのことです。

当日は、全校での歓迎式の後、3年1組の教室をあゆコロちゃんが訪ね、子どもたちは誕生秘話などを質問したり、プレゼントを交換したりしました。手紙を書いた柴明穂さんは「本当に来てくれてとてもうれしい」と話しました。

3年1組では、今回の訪問を生かしキャラクターの原案づくりを進め、3月に市へ提案する予定です。

